

生徒に対する信頼

以下の文章を読み、生徒が学び、教え、福音の教義と原則を応用するうえで、生徒にそれらの役割を果たす能力があることを信頼できるのはなぜかを理解する助けとなる語句に下線を引きましょう。

1. 預言者ジョセフ・スミスは次のように教えています。
「神がかつて世に送られたすべての精神と霊は、成長することができます。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』210）
2. J・ルーベン・クラーク・ジュニア管長（1871—1961年）は次のように教えています。
「教会の青少年は、御霊に関することに飢えています。彼らは福音を学びたいと切望しています。福音を薄めることなく純粋なまま学びたいと思っています。……彼らは疑う者ではなく、尋ね求める者、真理の探求者です。……
この生徒たちは皆さんのところへやって来て、成熟した状態に向かって霊的に成長しています。適切な食物を与えさえすれば、彼らは早くその状態に達することでしょう。彼らは、世の人々の知らない霊的な知識と霊的な経験を持って皆さんのところへやって来るのです。」（The Charted Course of the Church in Education, 改訂版〔1994年〕, 3, 5—6）
3. ヘンリー・B・アイリング管長は次のように教えています。
「皆さんにお約束します。〔生徒を〕探究者として扱うならば、生徒は皆さんの愛を感じることでしょう。そのことにより、さらに柔軟な心を持ちたいという望みが生じるかもしれませんが。それは毎回起こるわけではなく、持続しないこともあるでしょう。しかし、それは頻繁に起こり、持続することもあります。そして、やがて誰もが、彼らが最大の可能性、すなわち神の子としての資質を受け継いでいることを皆さんが信じていたことを思いだすでしょう。」（“And Thus We See: Helping a Student in a Moment of Doubt”〔教会教育システム宗教教育者向けの説教, 1993年2月5日〕, 5, si.lds.org）

4. スペンサー・W・キンボール大管長（1895—1985年）は次のように教えています。
「主は、この重要な時代に御業を推し進める手助けをする目的で取っておかれた偉大で力強い霊たちを送っておられます。この霊たちは、彼らが行わなければならない働きのために訓練を受け、備える必要があります。」（“Men of Example”〔教会教育システム宗教教育者向けの説教, 1975年9月12日〕, 5, si.lds.org）
5. 大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長は次のように教えています。
「若人は信じたいと思っています。救い主についてもっと知りたいと思っています。」（“A Teacher of God’s Children”〔教会教育システム教育者向けの説教, 2011年1月28日〕, 6, si.lds.org）
6. 十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように証しています。
「わたしは、かつて大管長会の一員であったジョージ・Q・キャンロン管長が述べた、次の言葉が好きです。『神がこの神権時代のために取っておかれた霊は、勇気と固い決意をもってこの世に立ち向かい、邪悪な者であるサタンが目に見える所と見えない所で振るう力に対抗し、福音を宣べ伝え、真理を守り、いかなる結果が伴おうとも恐れずに神のシオンを確立し、築き上げます。神はこのような霊を今の若者の世代に送り込んでおられるのです。それはシオンの基をしっかりと据えて二度と覆されないようにするためであり、義のうちに生き、神を何よりも尊んで、いかなる状況に置かれても神に従う子孫を育てるためです。』」（Deseret News, 1866年5月31日付, 203）
皆さんの教室の中の若い男性と女性はそのような人であり、未来への希望なのです。」（「信仰と希望と慈愛の教室」〔ニール・L・アンダーセン長老との夕べ, 2014年2月28日〕, lds.org/broadcasts）
7. エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899—1994年）は、次のように宣言しています。
「6000年近くにわたり、神は皆さんを主の再臨前



の最後の日々に生まれるように取っておかれました。……この〔最後の日々の〕ために、神は最も強い子供たちを取っておかれました。その子供たちは王国を雄々しく支えていくでしょう。皆さんが生を受けたのはそのような時代です。皆さんは神にまみえるために備えられた世代だからです。……間違いなく、皆さんは特別な世代です。……予任されていた末日の使命を忠実に果たしていただけますか。」(“In His Steps”〔プリガム・ヤング大学ファイヤサイド, 1979年3月4日〕 1, speeches.byu.edu)

8. ヘンリー・B・アイリング管長は次のように説明しています。

「〔生徒たちは〕御霊につける事柄に飢えるでしょう。また、御霊により真理が確認されるときに、そうと気づくでしょう。回復されたイエス・キリストの福音の基本的な真理に関する証の火を感じるにより証を深めたいと望むでしょう。」〔教会教育システム宗教教育者向けの説教, 1998年2月6日〕 2, si.lds.org)

